



弘前城

三五〇年の時を経て

令和に甦る能楽の宴

いざここに舞わん

おのう

この題字は千葉孝己さん(青森県立弘前高等学校3年)が揮毫しました。



写真/©青木信二



写真/©公益社団法人能楽協会

11月3日(日・祝)

開場 開演
第1部 10:00/10:30 終演予定時間/12:00
第2部 13:30/14:00 終演予定時間/15:50

弘前市民会館

全席指定

第1部・第2部通し

S席 7,000円 税込
[当日1,000円増]

第1部・第2部通し

A席 5,000円 税込
[当日1,000円増]

第1部・第2部どちらか

B席 1,500円 税込
[当日500円増]

実証実験協力者を募集中

本公演は健康都市ひろさきの実現に向けた取り組みのひとつとして国立大学法人弘前大学の協力のもと、公演の観覧前後に唾液を採取し、どんな効果が得られるのか実証実験を実施します。第1部を観覧する実験協力者にはQUOカード1,000円分を進呈します。

プレイガイド

弘前市民会館／弘前文化センター／さくら野百貨店弘前店
ヒロインフォメーション／弘前市まちなか情報センター
弘前かだれ劇場／弘前芸術鑑賞会事務局

休憩・昼食

第1部と第2部との間に昼食時間を含む休憩があり、市民会館ロビー・ホワイエ・会議室等を昼食スペースとしてご利用できます。

主催

文化こうりゅう事業実行委員会

企画制作

公益社団法人能楽協会

お問い合わせ

【チケットに関するお問い合わせ】
(一社)弘前芸術鑑賞会 ☎0172-40-4082 平日11:00～17:00

【公演に関するお問い合わせ】
文化こうりゅう事業実行委員会事務局(弘前市文化振興課内)
☎0172-40-7015 平日8:30～17:00

弁当購入は

ホームページから弁当の注文ができます。▶▶▶

弘前仕出し商組合 御能弁当 で 検索



公演や実証実験の詳細は、公式ホームページをご確認ください。

チケット購入は

ホームページからチケットの購入ができます。▶▶▶

弘前芸術鑑賞会 チケット購入 で 検索





本公演は、弘前藩4代藩主津軽信政の代に弘前城本丸に能舞台が建てられ、1674(延宝2)年11月2日と3日に藩主や藩士のほか町民を城内に招いて能楽が開催されてから350年を記念し開催するものです。

〔第一部〕開演10時30分(開場10時)

〔解説〕

仕舞 高砂

野月 聡 (宝生流)

独鼓 桜川

高林白牛口二 (喜多流)

狂言 茸

石田 幸雄 (和泉流)

能 羽衣 和合之舞

上野 朝義 (観世流)

小鼓 大倉 源次郎 (人間国宝)

太鼓 三島 元太郎 (人間国宝)

(終演予定12時)

休憩)

〔第二部〕開演14時(開場13時30分)

〔解説〕

狂言 素袍落

山本 東次郎 (大蔵流)

能 紅葉狩 鬼揃

観世 鏡之丞 (観世流)

小鼓 大倉 源次郎 (人間国宝)

太鼓 三島 元太郎 (人間国宝)

(終演予定15時50分)



「あらすじ」

「茸」(くさびら)

ある男の家に大きなきのがたくさん生えたので、山伏が祈祷で取り除こうとしますが、きのはほとんど増えるばかり。舞台いっぱいいきのこが登場する見どころの多い面白い作品です。地元の子どもたちがきのこ役に挑戦。一生懸命きのこを演じる姿にご注目ください。

「羽衣 和合之舞」(はごろもわごうのまい)

三保の松原に住む白龍は、松の枝に掛けてある美しい衣を見つけ自分のものにしようとするが、天女が現れ返してほしいと懇願します。天女は白龍を説得し、羽衣の引渡しを条件に舞を舞い、そのまま天空へと帰って行きます。能を代表する人気曲で、音楽の教科書にも取り上げられています。

「素袍落」(すおうおとし)

主人の伯父を伊勢参りに誘いに行った太郎冠者は、酒を振舞われ、饞別に素袍(礼装の衣)をもらいます。上機嫌で帰っているところを主人に見つけられ、太郎冠者の酔っぱらった姿が見どころの明るくにぎやかな名作です。

「紅葉狩 鬼揃」(もみどがりおにぞろえ)

信州・戸隠山を舞台とした鬼女退治の物語。前半の平維茂將軍一行を狙う美女(実は鬼女)の優雅な舞と、二転、後半の本性を現した鬼との激しい戦いは見ごたえ充分です。更に今回は「鬼揃」の特殊演出にて、より華やかな舞台となります。



○未就学児の入場はご遠慮ください。○当日券は会場のみで販売します。○出演者は都合により変更する場合があります。○当日は主催者、及び関係者・メディアの撮影が入り、撮影したものは今後の広報・配信等に活用します。客席を含む会場内の映像・写真が公開される場合がありますので予めご了承ください。○関係者以外、上演中の撮影・録音・録画は固くお断りします。

写真/「茸」撮影：政川慎治、それ以外は©公益社団法人能楽協会 ※写真と今回の配役は異なります。